



注) このプレスリリースは、米国メドトロニック社が2009年2月23日に発表したリリースの抄訳を元に、日本メドトロニックが日本市場（報道機関）を対象にさらに編集したものです。

報道関係各位

2009年2月23日

メドトロニックがコアバルブ社を買収

高成長の経カテーテル大動脈弁置換術でリーダー的役割を目指す

メドトロニック本社(米国ミネソタ州ミネアポリス、会長兼最高経営責任者:ビル・ホーキンス)は23日、経カテーテル大動脈弁置換システムの開発会社であるコアバルブ社を買収する正式契約を結んだことを発表しました。コアバルブ社の持つ非外科的な手技により、これまで外科手術を行うことが難しかった大動脈弁狭窄を有する患者の方に、鼠径部の大動脈からカテーテルを挿入して大動脈弁を置換する手技を提供することができるようになります。契約では当初の7億ドルに加え、合意されているマイルストーンの達成時には追加の支払いを行うことになっています。

ビル・ホーキンスは、「コアバルブ社の買収により我々の成長戦略にはずみがつき、世界で30万人以上いる重度の大動脈狭窄症患者の方によりよい治療を提供できるようになります。メドトロニックが持つ製造面、世界的な物流面での強みが後押しするでしょう」と話しています。

コアバルブ社の会長であり創業者でもあるジャック・セクインは、「我々はメドトロニックとの買収契約ができたことに感謝しています。これにより、より多くの患者さんがこの最先端の技術の恩恵を受けることができるようになります」と述べています。また、同社の社長兼最高経営責任者のダニエル・ルメートルは、「我々のCoreValve ReValvingシステムが世界25ヶ国、125の施設で2,600件以上の患者さんの治療に用いられた実績を誇りに思っています。今回の契約による相乗効果により、我々はさらなる成功を期待しています」とコメントしています。

メドトロニックは本日、ベンター・テクノロジー社との買収契約を締結したことを併せて発表しました。これらの買収により、メドトロニックは循環器医療の発展にさらに注力していきます。

※本プレスリリースにある予測的な記述は、2008年4月25日時点でのメドトロニック・アニュアルレポート(フォーム10-K)に記載のリスクや不確実性の影響を受ける可能性があります。実際の結果は予測と相違する可能性があります。

メドトロニック (Medtronic Japan Co., Ltd.) について

メドトロニックが提供する先端医療技術は心臓疾患を始め、パーキンソン病、糖尿病、脊椎疾患、脳疾患、慢性的な痛みなど慢性疾患を広くカバーしています。日本メドトロニックは1975年の設立以来、30年以上にわたり慢性疾患をお持ちの方々に安らぎ、喜び、希望が届くよう事業活動を行っています。

ウェブサイト <http://www.medtronic.co.jp>